

生協の現況 2015.3.1現在

組合員	34,401人
出資金	15億7,317万円
一人平均	45,730円

今期増加組合員	1,577人
出資金	11,723万円



一人は万人のために万人は一人のために

2015年
(4月号)
第428号

東京ほくと医療生活協同組合
住所 114-0003 北区豊島3-4-15
発行「東京ほくと」編集委員会
☎03 (3913) 9100
Home Page : http://www.t-hokuto.coop/

「私らしく」毎日を過ごすために

切れ目のない医療・看護の提供

緩和ケア病棟開設1年をむかえて

王子生協病院4階病棟
看護師 廣川 和恵

王子生協病院に緩和ケア病棟ができて1年が経とうとしています。個室19床を含む計25床は今までと変わらずに差額ベッド代がかかりません。北区に初めて緩和ケア病棟ということ、近隣の大病院から、遠くは横浜から入院される方もいます。

東京ほくとへの事業所が支えます

身体と心のつらさが和らげば退院され、また短期の入院を繰り返される方もいますが、体力の限界まで自宅で過ごしたいという想いを診療所や訪問看護ステーション、在宅医療部が支え、そして最期を病院で過ごすという入院される方も多いためです。地域に根ざしてきた東京ほくとだからこそ

切れ目のない医療・看護・介護を提供できるのではないかと思います。

私たちは人生の中でほんの少しの期間しか関われないこの病棟で、悪性腫瘍（がん）の患者さんが「私らしく」穏やかな毎日を過ごすために、身体や心のつらさを和らげることを目標に日々奮闘しています。

医師を中心に多職種で関わる

悪性腫瘍（がん）の終末期では、痛みや呼吸困難、腸閉塞、せん妄など様々な症状が出るため、それらの苦痛を和らげるために何が出来るか、医師を中心に看護師、セラピスト、薬剤師、MSWと多職種とごまめに相談しています。医療用麻薬の使用が多く、効果・副作用の観察をしています。また、その人なりのつらさを和らげる方法が何か、患者さんとご家族、スタッフ一同で考えます。マッサージや話すこと、気分転換がつらさの緩和につながることもあります。

私らしく生活を楽しむ

入院生活の中でこんなことがありました。患者さんの趣味の写真・絵を壁一面に貼ってくれました。海外に住む娘さん家族とTV電話をしました。娘さんが毎

日面会に訪れ、大好きな花を飾りアロマをたいてくれました。大好きな人のライブに行きました！食べたりお酒を飲んだりしたいけどむせて肺炎になってしまおう方に、繰り返し相談をして、しぼった果汁やお酒で口を湿らせて味わってもらいました。みんなでお誕生日のお祝いもします。また、七夕・お月見・クリスマス・ひなまつりと、看護師や知人による楽器演奏、ティータイムのレクリエーションを開催してきました。先日は患者さんからハーモニカ演奏を聞かせていただきました。季節を感じてもらいたいと、栄養士の協力でスイーツを食べたり、ご家族のみなさんやスタッフで囲んでの写真撮影をします。笑顔がみられると、私たちもとても嬉しく癒される思いです。ナースステーション内のボードにはそんな笑顔の写真が一面に飾ってあります。

お世話になりました

昨年9月から叔母がお世話になり、3月に亡くなりました。入院当初、発熱や

おうちなどで3〜4週の寿命と言われました。家に帰ることができませんでした。が、静かな環境とケアで、1月には誕生日を迎えることができました。末期がん

は相当な痛みで、その痛み止めがポイントと思っていましたが、眠るようになってきたりした最期でした。大変お世話になりました。
豊島2丁目 Kさん

看護師によるヴァイオリン演奏



日面会に訪れ、大好きな花を飾りアロマをたいてくれました。大好きな人のライブに行きました！食べたりお酒を飲んだりしたいけどむせて肺炎になってしまおう方に、繰り返し相談をして、しぼった果汁やお酒で口を湿らせて味わってもらいました。みんなでお誕生日のお祝いもします。また、七夕・お月見・クリスマス・ひなまつりと、看護師や知人による楽器演奏、ティータイムのレクリエーションを開催してきました。先日は患者さんからハーモニカ演奏を聞かせていただきました。季節を感じてもらいたいと、栄養士の協力でスイーツを食べたり、ご家族のみなさんやスタッフで囲んでの写真撮影をします。笑顔がみられると、私たちもとても嬉しく癒される思いです。ナースステーション内のボードにはそんな笑顔の写真が一面に飾ってあります。

注射器

春、4月にふさわしい明るい話題で、との依頼にさして考えた。一向に思い浮かばないので身近な人間に何かないかと聞いてみた。しばらく考えて「和歌山の動物園で双子のパンダがすくすく育っていることぐらいじゃないの？」深夜のNHKラジオではアナウンサーが4月になると大手の企業ではベスアップがあり、皆さん買いたたれるので自営業がうるさい、そのうちまわりもよくなっていくのではないのでしょうか。そうなるまで4月も楽しみですね。さすがNHK消費増税から一年たち、周囲ではいつ店を閉めようかと考えているか、すでに閉店という状況ばかり目につくが、年金は減り、医療・介護などの負担が増すなかで、当然家計消費は落ち込み、不景気の風が吹きまわっているのが実感だ

▼進学、就職と新生活に踏み出す人々にも、重い学費の負担「雇用政策の悪化など決して明るい未来は待っていない。これからはすべて政治の責任で、愚かな政治家を選んだ私たちがも責任があり、選ばなかった人にも反省してもらいたい」▼また今春が来て平和の唄の音がする(朝日川柳)というのが大方の実感だが、この現実に向けるわけにはいかない。目前に迫った統一地方選挙では、身近な生活の改善に結びつく努力を増やすべく行動を。少しでも明るい春を迎えるために。(今)

理事会だより 3月20日

「医療・介護を守る行政に」 私たちの手で変えるチャンス

理事長あいさつ

大山 美宏

医療・介護総合法とプログラム法について

1つは、昨年10月から始まった病床機能報告制度のねらいです。2025年の医療需要を把握して、効率的な医療を提供するため、4月から都道府県は「地域医療構想」の策定に着手します。2025年に202万床必要となるのに、159万床、入院という20%削減、という「標準的な計算式」を出しています。たとえば療養ベッドに入院している人の割合を2013年時点でもっとも

国保の都道府県移管

2つ目は、2018年度から国民健康保険の財政運営を都道府県に移管し、保険料値上げと、強権的徴収を強めようとしています。新制度では、「標準保険料率」や「寄付金」を設定し、市町村を従わせようとしています。一般会計からの繰り入れなしの考え方で、低い県にあわせる。そして、10万人対比ベッド数で、高知は神奈川の3倍であり、そこに「無駄がある、効率化できる」と踏んでい

営利企業の参入

3つ目は、安倍内閣の特徴である医療・介護の市場化、儲けの場にする先兵として、いくつかの医療法人や社会福祉法人をひとつの法人にみだてて運営できる、非営利ホールディングカンパニーというもの検討がされています。複数の医療法人で、自由にベッドの移動ができ、都道府県のベッド削減のお先棒をかつぐことになりかねない

人権を守る行政へ

私たちは東京北社会保険病院存続のたたかいを経験しています。そのように地域ぐるみで、医療・介護を守ることが必要となっています。また、行政との懇談や要請など、どんどんおこなっていく必要があります

なると「非営利」といいますが営利企業の参入の危険が言われています。巨大医療法人をつくり、外国へも進出しようとする動きがあります。

これまでにないベッド削減と医療費削減のトライアングルの体系です。そして医療費も、日当の低い県にあわせるなどの操作を都道府県を主体にして成し遂げようとするものです。できなければ、診療報酬単価1点10円を操作するという狙いももっています。県によつては人の命の値段が違うことになり、危険極まりないものです。

県によって違う医療費

これまでにないベッド削減と医療費削減のトライアングルの体系です。そして医療費も、日当の低い県にあわせるなどの操作を都道府県を主体にして成し遂げようとするものです。できなければ、診療報酬単価1点10円を操作するという狙いももっています。県によつては人の命の値段が違うことになり、危険極まりないものです。

第74回通常総代会告示
東京ほくと医療生活協同組合定款第60条に基づき、第74回通常総代会を次のとおり開催します。
日時：2015年6月27日(土)午後1時開会
会場：北区滝野川会館大ホール
議案：
第1号議案 2014年度活動のまとめ、決算関係書類承認の件
第2号議案 2015年度活動方針、事業計画及び予算承認の件
第3号議案 役員(理事・監事)選任の件
第4号議案 定款変更の件
第5号議案 第二次中期計画承認の件
第6号議案 議案決議効力発生

「議事録要旨」
報告事項
①2月組報告
組員加入100人、出資金増資752万円、増資率112.8%、班会開催89回、2項組員無し。年度末課題達成に向けて訪問行動を、便チェック763個普及。3月28日荒川ラインウォーク参加要請。NPPT核廃絶署名推進。2月25日地域包括ケアシステム学習

王子生協病院は、個室も含め全室差額ベッド料はいただいております。

医療と介護の現場
最期は自分の家で
グループホーム「ほくとひまわりの家」が開設されてから、今年6月5年目に入り、多くの方々に支えられてここまで来ることができました。
その中で昨年11月に退居された利用者さんがいます。この方は約3年間おまわりの家で生活し、とても明るく笑顔が素敵な方でした。その方の家族の願いは、最期は家に帰って看取りたいとのことでした。元気に傾から「寝たきりになったら、自宅で引き取りたい」との要望があり、何度の影響や病状の悪化で聞く

自分の口で食えることがこんなに大切だとは...

歯科運営委員会が学習会を開く

2月28日、「口腔ケア・口腔リハビリ」の学習会を開催し73人が参加しました。講師は、茅ヶ崎で村田歯科医院を開業されている黒岩恭子院長先生(歯科医師)です。先生は、口腔ケアという言葉が一般的に使用される数十年前から、「食べられる口をつくる」ために口腔ケアの製品である「くろいなブラシ」を開発されました。一般的に口腔ケア

きている限りは自分の口で食べて欲しいという強い信念に基づき「口腔ケア」です。参加者からは、「食えることがこんなに大切だと思わなかった」「お口の大切さが全然わかっていなかった」など感想が寄せられました。



介護については、みんな心配(地域包括ケア学習会参加者)

「地域包括ケア」ってなあに? 地域の紹介や質問・意見も

理事会・福祉支援委員会が学習会

2月25日、「地域包括ケア」の学習会を60人を超える参加で行いました。介護保険制度は3年サイクルで見直し、2015年がその改訂の年です。その概要を紹介されました。参加者からは「サロンをおこなっているが、専門的なことはできない、高齢化が進み、私たちの手に負え



講師の黒岩恭子歯科医師
講師の西村祐子副部長(福祉事業部)

6. 社保、平和の課題

平和主義、生存権保障を明記した日本国憲法、特に9条、13条、25条を学び、語り、広げる運動を強めます。

(1) 社会保障を守る運動

- ・消費税10%増税阻止の運動を進めると同時に、消費税に頼らず社会保障を充実させる国づくりの世論を広げます。
- ・介護保険の改悪を許さない運動を国と自治体に向けて進めます。
- ・生活保護制度の学習会と改善運動を進めます。

(2) 平和を守る活動

- ・戦争する国づくりにつながる法整備の動きに対し、学習して、反対運動を強めます。特定秘密保護法の廃止をめざします。憲法9条の改悪を許さない運動を進めます。
- ・核兵器廃絶署名を全組合員、全地域の規模で取り組みながら、NPT再検討会議、ヒロシマ平和行動、原水禁世界大会に代表派遣を行います。
- ・原発ゼロの運動に取り組みます。原発事故の被災地に足を運ぶ活動を継続します。
- ・首都圏における基地問題の学習会、基地見学に取り組みます。
- ・民医連が継続している沖縄辺野古新基地建設反対の支援連帯行動に参加します。

(3) 環境を守る運動

- ・大気汚染の測定運動に取り組みます。
- ・水俣病検診をはじめ様々な公害問題に取り組みます。

7. 東日本大震災支援およびその他の災害支援活動等

- ・いわて生協主催の岩手県宮古市仮設住宅のサロン活動へのボランティア派遣を継続します。
- ・震災支援のための継続的な募金活動に取り組みます。
- ・台風、豪雨災害、地震災害等、各地で発生する災害に対し、法人として可能な限り支援活動に取り組みます。
- ・首都直下型地震に備えた防災計画等の学習と準備を進めます。

8. 生協組織を強く大きくする課題

医療福祉生協300万人組合員をめざし、地域の中に医療福祉生協を広め、健康・平和・まちづくりの活動と全国四課題をすすめるために、垣根をこえた仲間増やしの活動をすすめます。仲間増やしを

重視し、班活動に旺盛に取り組み、担い手・運営委員を増やします。

医療福祉連がめざす“3つのつくろうチャレンジ”、つながりマップ、居場所(サロン、助け合い活動)、支部づくりをすすめます。

<2015年度目標>

(1) 仲間増やし：2,000人

- ・目標にこだわった支部活動をすすめ、積立増資運動の強化、事業所は毎月25日を100%デーとして取り組みます。
- ・本人加入を進め、定期的に未加入患者さんへの「加入の案内」を送ります。
- ・生協コーナー参加、地域訪問行動に取り組みます。

(2) 増資目標 出資金：1億5千万円

- ・事業計画実現に向けての増資運動を積極的に取り組みます。
- ①設備投資計画のある事業所はその額を含めた増資目標とします。
- ②職員一人あたりの毎月・年間増資目安を設定し取り組みます。
- ③増資参加者目標設定をします。

(3) 班づくり・班会開催

- ・班づくり：50班
- ・班会開催：1,500回

(4) 担い手づくり・支部づくり

- ・担い手作り：1,500人、運営委員を1支部10人に。
- ・支部づくり：新支部づくりをめざします。
- ・支部診断、地域診断をすすめ地域から求められる支部活動を明確にしましょう。
- ・地域のさまざまなつながりを誰にもわかりやすく見える支部の「つながりマップ」を作成します。
- ・リーダーとなる次世代の「支部長・運営委員」を増やします。
- ・虹のかけはしさんの配布部数を一人10部以下をめざします。
- ・地域運営委員会や支部と地域包括支援センターとの懇談会の開催をすすめます。
- ・通信教育の受講と修了者を増やす取り組みを重視します。

(5) 「組合員と職員の活動交流集会」を開催します

(6) 東京ほくと65年史(通史)を発行します

2014年度まとめと2015年度方針(案)は6面からです

2015年度 支部総会日程

支部	日程	開始	会場	
荒川区	荒川町	5月2日 土 11:00	荒川生協ホール	
	荒川5・6	5月16日 土 11:30	荒川生協ホール	
	町屋	5月10日 日 10:30	荒川診3階 通りハ室	
	南千住	5月10日 日 13:00	南千住ふれあい館	
	東尾久	5月17日 日 12:15	東尾久ひろば館(予定)	
	西尾久	5月10日 日 10:00	尾久ふれあい館	
	西日暮里	5月15日 金 13:30	西日暮里ふれあい館	
	汐入	5月16日 土 14:00	汐入防災センター	
	北区	豊島1・2	4月30日 木 13:30	王子ふれあい館
豊島3丁目		5月18日 月 13:30	豊島ふれあい館	
豊島4		4月30日 木 11:00	豊島ふれあい館	
豊島5・6		4月30日 木 13:30	豊島5-6丁目会館	
豊島7・8		4月29日 水 13:30	王子ふれあい館	
豊五		5月17日 日 14:00	4号棟C-5	
北區		堀船	5月10日 日 13:30	堀船ふれあい館
		王子	5月10日 日 14:00	王子ふれあい館
	滝野川	5月17日 日 13:30	馬場ふれあい館	
	中里	5月14日 木 12:00	滝野川会館3階学習室	
	王子本町	4月25日 土 13:30	中央文化センター	
	東十条	4月24日 金 11:00	東十条ビル	
	神谷	5月13日 水 13:30	神谷ふれあい館	
	神谷堀	5月14日 木 11:00	神谷堀ハイツ集会室	
	王五団地	5月9日 土 13:30	6号棟集会室	
	十条東	5月11日 月 13:00	十条振興室	
足立区	鹿浜第1	5月21日 木 14:00	鹿浜診療所2階	
	鹿浜第2		かえで薬局2階	
	足立西部1	4月30日 木 14:00	かえで薬局2階	
	足立西部2	4月18日 土 14:00	かえで薬局2階	
	北足立第1	5月23日 土 13:00	北足立診2階	
	北足立第2		おじゃんせ	
	北足立第3	5月23日 土 13:00	おじゃんせ	
宮城小台	5月23日(予定) 土 10:00	江南区民事務所		

上記日程で支部組合員集會を開催します。参加などの連絡は 組織部3913-9100まで

第74回通常総代会

日時：2015年6月27日(土)午後1時開会
会場：滝野川会館大ホール
(北区西ヶ原1-23-3)
電話03-3910-1651

年度の二段階で

75歳以上の保険料軽減措置廃止（保険料負担2～10倍） 2017年度
国民健康保険制度の都道府県化 2018年度

<介護保険制度>

介護報酬2.27%引き下げ 2015年度
特養ホーム入所要件 原則要介護3以上 2015年度
介護予防・日常生活支援総合事業
(訪問介護、通所介護の要支援者は各区保険者へ移行) 2015年度～
2017年度
年収280万円以上の方の利用料1割→2割 2015年8月
施設の居住費、食費の補足給付縮小 2015年8月
特養ホームの多床室料金徴収開始(15,000円相当) 2015年8月

<年金>

3年間で2.5%の年金削減 2013年度～2015年度
マクロ経済スライド制導入(物価は上昇しても年金は抑制) 2015年度

<生活保護>

3年間で最大10%の生活扶助費削減 2013年度～2015年度
冬季加算、住宅扶助の削減 2015年7月

- ・円安による物価上昇と消費税8%増税により国民生活は一層悪化しています。非正規雇用の拡大(全体の37%)、ワーキングプアの増大(年収200万円以下1,120万人)、実質賃金18ヵ月連続低下、貯蓄なし世帯比率30%などの統計に顕著です。国保料滞納による保険証の取り上げ、後期高齢者保険料、介護保険料の滞納問題などますます深刻となっています。
- ・「健康をつくる」「平和をつくる」「いのち輝く社会をつくる」という理念をかかげる医療福祉生協としての役割発揮が求められています。

2. 2015年度のほくと医療生協の重点課題

- ①患者、利用者に満足していただけるように医療・介護の質向上の取り組みを進めます。内部の経営努力も進めながら経営の安定化をめざします。
- ②事業と運動の両面から医療福祉生協らしく、無差別平等の地域包括ケアの取り組みを進めます。
- ③ひとづくり、組合員の参加を重視し、職員と地域組合員の協力を貫きます。
- ④社会保障改悪の動き、戦争をする国づくりに対し広範な人々と一緒にたたかいを強めます。

3. よりいっそう信頼される事業所となるために

東京ほくと医療生協がこれまでの取り組みを土台にしつつ、今まで以上に信頼される事業者に成長、発展することをめざします。

(1) 組合員はもとより地域の皆さんに寄り添う医療・介護の実践を強化します

- ・すべての事業所で「安全・安心」「親切」の医療、介護の実践を進めます。
- ・すべての事業所で患者、利用者の満足度を上げるための「質向上の目標」を決めて取り組みます。
- ・すべての事業所が医療、介護、生活相談などの総合相談機能を強化します。
- ・無料低額診療事業に取り組みます。
- ・施設内ボランティアのいっそうの充実をはかります。

(2) ひとづくりの重視、互いに育ちあう気風をつくります

- ・事業所、職場の理念を形にします。
- ・無差別平等の地域包括ケア、「医、福、食、住」の切れ目ないサービスの視点、健康の社会的決定要因、ヘルスプロモーションホスピタル、民医連綱領、いのちの章典の視点、貧困問題などの学習活動に取り組みます。
- ・通信教育の受講者を増やします。

(3) 組合員参加による質の改善

- ・事業所利用委員会で事業所の取り組みについての評価を行い、改善課題を明確にして取り組みます。
- ・内部監査システムを活用し改善を進めます(質目標、職員の力量評価と教育計画、患者・利用者アンケートの実施と評価、不適切サービスへの対応)。

(4) 経営構造を改善して経営の安定化をはかる

2015年度は介護報酬改定の年です。厳しい改定内容となっていますが、2億円の経常利益、5億円の事業キャッシュを生み出せる経営構造転換をめざします。

医師、看護師、リハビリ、介護職等の職員確保を進めつつ、診療報酬と介護報酬の改定対応を進めます。収益の面ではベッド稼働の目標達成と在宅強化を重点とし、費用においては、定員管理を強化し、総人件費を抑制すること、材料費、委託費、経費等の費用の見直しを進めます。

4. 健康づくり

健康寿命を伸ばす取り組みと1支部1サロン活動をすすめて、「誰もがいきいき」「笑顔で長寿」のまちづくりをめざします。

地域ごとに健康・高齢化・貧困などについて分析し地域の問題点を明確にします。

- ①青空健康チェック会や班会での健康チェック運動は年間1万人の実施をめざします。
- ②「8つの生活習慣と2つの健康指標」を学習し、健康チャレンジにつなげます。健康チャレンジは子どもからお年寄りまで実践できる内容とし、1,000人を目標とします。
- ③認知症サポーター養成講座を開催し、サロン活動へ広げます。
- ④支部ごとに健診、がん検診の受診運動を進めます。各自治体の健診制度の改善運動に取り組みます。事業所と組織部の連携を強化して、組合員の健診受診拡大を進めます。
- ⑤すべての支部で脳いきいき班会、転倒予防体操をすすめます。
- ⑥健康づくり委員会へ医師、看護師、リハビリ等の専門職種のかかりを強めます。
- ⑦各支部・地連ごとで健康づくり委員の計画的育成を進めます。健康づくり学校は、中高年層が参加しやすい講座形式と内容改定を行います。
- ⑧健康づくりの活動の統計をとり地域の特性や健康度が「見える」ようにします。
- ⑨北区、荒川区でも始まる胃がんリスク検診に積極的取り組みます。(足立区はすでに実施)



サロン・滝野川もみじ会

5. 地域包括ケアのまちづくり

- ①すべての支部に1サロン、1助け合い活動を提起します。購買生協や社協、地域包括支援センターなどの協同の取り組みをめざします。
- ②虹のかけはしさんに見守り活動への協力を呼びかけます。
- ③認知症の取り組みとして早期の発見、認知症の方や家族の支援活動、見守りの実践等を進めます。認知症サポーターの方々の協力を呼びかけます。
- ④地域支援事業に対しては利用者の人権を守る立場で運動を強めます。現在取り組んでいるサロン、見守り、認知症予防等の取り組みを自治体と協同して進めます。
- ⑤購買生協との協同企画(健康づくり、防災、サロン)をさらにすすめます。
- ⑥地域包括ケアについて意見交換できる説明会、学習会等を企画します。

(6) 組合員・職員とともに達成する全国四課題

- *2014年度の到達状況は仲間増やし：2000人目標に対し1,577人、出資金増やしでは、1億5千万円目標に対し1億1,723万円となりました。(2015年2/28現在)
- *仲間増やしでは7支部、7事業所が目標を達成しました。(2/28現在)
- *出資金増やしでは、6支部、10事業所が目標を達成しました。(2/28現在)
- *新班づくり11班、担い手46人が増えました。(2/28現在)
- ・支部長・副支部長・運営委員を対象に33人の参加で「支部長交流集会」を開催しました。「安心して住み続けられるまちづくり」をテーマにした講師の話に「あらためて医療生協の原点を考えることができた」と好評でした。
- ・生協強化月間の「せ〜の集会」には153人が参加、医療福祉生協連専務理事の東久保浩喜氏の講演と「せ〜の行動」にむけた意思統一を行いました。せ〜の行動には135人が参加、1,700件のお宅を訪問し、新たに65人の仲間を迎えました。
- ・10月から12月の生協強化月間で仲間増やし1,386人(目標比77%、昨年比102%、+33名)、出資金1億5万円(目標比80%、昨年比88%、▲1,344万円)でした。仲間増やし目標達成は9支部、7事業所、出資金目標達成は6支部、13事業所でした。6年連続で年内1億円の出資金を達成しました。

2. 事業計画

(1) 地域包括ケアの検討

高齢化社会に向けて、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるための地域包括ケアをテーマにした学習会を開催してきました。同時に第二次中期計画で東京ほくとと医療生協がめざす地域包括ケアビジョンの検討を開始しました。

(2) 病棟医療

- ・王子生協病院に差額室料を取らない緩和ケア病棟(25床)を開設しました。
- ・回復期リハビリ病棟は、医師およびリハビリ職員の充実をはかり、365日十分なリハビリが実施できる態勢を整えました。
- ・看護体制の厳しい中、最大限の入院患者受け入れを進めました。東京民医連より昨年からの継続で1人(6ヵ月)、新たに1人(6ヵ月)の看護師支援をいただきました。

(3) 在宅医療

- ・病院および診療所、歯科で在宅医療の取り組みを進めました。1月現在の在宅患者数は内科560件、歯科53件です。老健はなみずきにおいても在宅復帰を高める取り組みを進めています。
- ・豊川通り診療所を廃止し、王子生協病院の在宅医療部として位置づけました。

(4) 医療・介護の質向上

全事業所で事業の質向上、患者、利用者満足度をあげる取り組みを進めました。

(5) 患者利用者アンケート

患者、利用者アンケートを全事業所で実施し改善目標を設定し取り組みを行っています。

(6) 健診の取り組み

- ・王子生協病院は近隣病院の健診委託辞退に対応して健診受入数を拡大することができました。
- ・自治体によっては健診事業者には様々な制約があるため健診の受け入れを伸ばすことの障害になっていることも事実です。制度の改善も含めた取り組みが必要です。

(7) 経済的弱者救済の医療

2015年度より王子生協病院で無料定額診療事業を開始できる見込みです。

(8) 介護予防と地域支援事業

- ・北区と地域支援事業に関して購買生協と一緒に懇談を行いました。
- ・浮間地域では生協浮間診療所と地域包括支援センター、北区社協

と共同で認知症学習会や共同の運営委員会を行い3月より「うきまカフェ」が立ち上がりました

(9) 経営改善

- ・診療報酬改定の対応、ベッド稼働の引き上げ、在宅強化、健診拡大等を重点課題として取り組みました。
- ・1月累計で1,800万円の経常利益を確保、予算比で400万円の未達となっています。
- ・2014年度は予算超過で年度末5,000万円の経常利益確保を目標としています。年度末にむけて最大限の取り組みを進めます。

(10) ひとつづくり

- ・民医連総会方針といのちの章典実践ガイドラインの学習会に取り組みました。
- ・医療福祉生協の通信教育受講は95人(職員70人、組合員25人)でした。
- ・東京民医連北中ブロックでの事務政策の検討を進め、事務職員交流集会を開催しました。
- ・ほくと介護職部会を立ち上げました。
- ・職員・組合員が学生と共に学び、学習交流を深めることを目的として、「古いゼミナール」を3回シリーズで実施しました。学生、地域組合員、職員の20人が参加しています。

(11) 2015年度採用

- ・初期研修医 1人 後期研修医 1人、既卒 2人
- ・看護師 新卒 8人 ・リハビリ 10人 ・事務 3人
- ・介護 1人

(12) ホームページ等広報の改善

事業所ごとにホームページの改善を進めました。

(13) 東日本大震災被災地支援、原発事故被害者支援の取り組み

- ・岩手県宮古仮設サロン支援に参加しました。
- ・福島こどもリフレッシュ企画の取り組みに参加しました。

(14) 中期計画の検討

- ・7月から策定委員を選出して議論を開始、6回の策定委員会を開催しました。
- ・11月の全管理者役職者会議に問題提起を行い意見集約を進めるとともに、2月の理事会と地域運営委員会にて意見集約を呼びかけました。3月臨時理事会で討議し職員、組合員討議を経て総代会提案とします。

2015年度方針(案)

1. 情勢

- ・解散総選挙では自公で3分の2以上の議席を獲得、「圧勝」と報じられましたが、実態は2割に満たない得票で6割の議席につながる小選挙区制度の欠陥によるものです。一方野党は、民主党微増、「第三極」減、共産党躍進となりました。沖縄県では新基地建設反対派をかかげる統一候補が4つの選挙区すべてで勝利しました。
- ・安倍政権は「虚構の多数」を背景に、過激組織「イスラム国」による人質殺害等も口実にしながら「戦争する国づくり」にむけた動きを活発化しています。5月連休明けには自衛隊を海外に出動させるための法改正が審議にかかる予定です。さらに2016年の参議院選挙後には憲法改悪も企まれています。
- ・社会保障制度の分野でも次々と改悪を進めようとしています。具体的内容は以下の通りです。

<医療制度>

病床機能の分化等の名目での病床の削減(病床報告制度の開始)	2014年度
	70歳~74歳窓口負担1割から2割に(新たに70歳から)
	2014年度
紹介状無しの大病院受診の定額負担5000円~1万円	2016年度
患者申し出療養制度(混合診療への第一歩)	2016年度
入院給食費の自己負担引き上げ 1食260円→460円	2016、2018

東京ほくと医療生協

2014年度まとめと2015年度方針(案)

2014年度まとめ

1. 組合員活動

(1) 地域まるごと健康づくり(健康寿命を伸ばすとりくみ)

- 健康チェックの到達は2月末現在で18,929回(年間目標21,960回/86.2%到達)です。青空健康チェックは20ヵ所で行われ、北区、足立区、荒川区のイベントにも積極的に参加しました。
- 健康チャレンジを生協強化月間で位置づけ500人目標に対し過去最高の533人が登録(昨年比221%)しました。王子地域で最高の登録数になったほか、事業所でも多くの職場が取り組みました。体験交流会を57人の参加で行いました。
- 歩行寿命を伸ばす取り組みとして「転ばん塾」を開講しました。第1期40人、第2期24人がエントリーし理学療法士によるストレッチ体操、下肢筋力アップの運動、呼吸法や、各地域の組合員運動リーダーによる体操(さくら体操・荒川転ばん体操など)を実施しました。「運動するきっかけになった」「友人も誘いたい」と好評でした。今後、組合員自らが塾を組織できるよう運動指導のリーダーの育成が課題です。
- 3月28日(土)に第3回荒川ラインウォーキングを141人の参加で実施しました。
- 健康づくり学校を王子地域、北地域で開校し17人の健康づくり委員が誕生しました。
- 大腸がん健診は組合員数6%を目指し745人に広げました。
- 2020年の水銀規制に対応し、電子血圧計への切り替えを進めました。
- 健診受診をすすめる活動に取り組みしました。
- 口腔ケア、口腔リハビリについての学習会を開催し73人が参加しました。



転ばん塾

(2) 地域のたすけあい活動・ボランティア活動

- 16支部19ヵ所ですalon活動が開かれています。講師を招いての体操、ちぎり絵、折り紙など内容の充実をはかっています。また町会と協力した形、商店街の空きスペース部屋を活用するなど他団体との協同がはじまっています。
- 地域包括ケア学習会を開催し60人が参加し関心の高さが表れています。
- 機関紙「東京ほくと」配布者さんへ見守りに関するアンケートを実施しました。
- 高齢者誕生日訪問行動が10支部に広がりました。「毎月でも来て欲しい」と好評です。訪問する組合員も「時間はかかるが多くの人が喜んでくれるので今後も続けていきたい」とはりきっています。
- 50人が参加し初めて「salon活動交流会」を開催しました。活動交流と合わせて、会場がない、送迎をしたいが運転ボランティアの確保が難しいこと、費用のことなど日頃の悩みを出し合うことができました。
- 恒例の「福祉たすけあいまつり」を300人の参加で開催しました。1年前から舞台の出し物を準備したり、販売する編み物や小

物の準備など多彩な取り組みがありました。

- 地域支援事業の開始にむけて東京都協連が仲立ちして東京ほくと医療生協・東京ふれあい医療生協と荒川区との懇談を行いました。
- 東京都協連のモデル地域として始まった「福祉のまちづくり北」のとりくみは4年を経過、コープみらい、パルシステム東京、生活クラブ生協、東都生協、東京ふれあい医療生協、東京ほくと医療生協の6生協で行っています。見守り・子育て・災害について学習会を開催、情報共有を進めており今後の発展が期待されます。2014年10月に北区高齢福祉課と懇談し、地域支援事業に向けて生協活動をアピールしました。

(3) 組合員と職員でつくるかかりやすい事業所利用活動

- 医療介護評価アンケートに事業所利用委員会を中心に取り組みました。また事業所利用委員会と大泉生協病院の見学交流を行いました。
- 事業所内のボランティア活動として、清掃ボランティア、外来案内ボランティアの他に健診ボランティア・みどりのボランティア、介護施設でのレクリエーション、回復期リハビリ病棟でのボランティアも始まり多様な活動が広がっています。
- 事業所利用委員交流会を実施しました。

(4) よく生きること(終末期)を考える取り組み

- 「最期まで充実して生きるために一自分の死について考える」と銘うっての学習会や「事前指示書」の学習会を開催しました。学習会では臨終についての意見交換、家族を看取った経験交流がされました。参加した人がさっそく家族に相談したり、主治医の外来に「事前指示書」を持参するなどの動きにつながっています。
- 組合員を対象に「地域緩和ケア講座」を4回開催しました。

(5) 社会保障制度の充実、生活と平和を守る活動

- 国会請願行動、自治体への請願、陳情の運動を通じて社会保障を守る活動に取り組みました。
- 秘密保護法を廃止する運動をすすめました。また普天間基地の撤去・辺野古移設反対と沖縄基地なくせ運動・オスプレイの配備反対運動に取り組みました。
- 平和憲法を守る取り組みとして「憲法学習推進委員会」を開催しました。憲法アンケートを実施し553人から回収、それをふまえて「東京ほくと憲法シンポジウム」を開催し107人が参加しました。
- 8月の広島豪雨災害の募金とボランティア派遣に取り組み、2人の職員がボランティアに参加、募金43万円が集まりました。
- 原水爆禁止世界大会ではプレ企画として横浜基地見学を実施し、20人が参加しました。世界大会には職員11人、ピースアクションin広島に組合員5人が参加しました。募金活動は639,104円を集めました。報告会に参加した職員・組合員双方から「若い職員が平和の担い手として成長している」との感想が寄せられました。
- 地域の団体と協同して「なんでも相談会」を北区と荒川区内で開催しました。払えない国民健康保険料・年金相談・介護問題、生活保護、家族のDVに至るまで様々な相談が寄せられています。
- 2015 N P T ニューヨークに向けた反核運動に取り組みました。N P Tへは3人を送り出し90万円の募金と6126筆の署名が集まりました(2/28現在)。健康まつりに平和コーナーを設置し署名運動を行いました。



なんでも相談会

病気の話題

北足立生協診療所所長
医師 渡邊 隆将 (たかま たくまさ)



生活習慣病は、生活スタイルの変化に伴って増加傾向にあり、その傾向は高齢者だけでなく、若年層にも及んでいます。現在、日本人の3人に2人が生活習慣病で亡くなっているといわれています。一方、規則正しい生活をおくことで、脳卒中や心筋梗塞など、生命に関わる病気を予防できるのも生活習慣病の特徴といえます。

通信 (敬称略)
豊五 守谷治輝 (74) 小生、毎朝ウォーキングとラジオ体操で健康維持。
豊五 西山ふみ子 (65) 最愛の娘をガンで亡くし、2年前、介護の仕事をしたりと資格を取りました。
南千住 鈴木ゆかり (47) 隅田川沿いの早咲きの桜が、とてもきれいです。
倉人 松山雪子 (71) 「春」出会いと別れの季節、新しい人との出会いはワクワクします。
志茂 大塚克子 (84) 庭の海棠のつぼみも、くさみ始めました。

「糖尿病予備群」といられないように

生活習慣病は、生活スタイルの変化に伴って増加傾向にあり、その傾向は高齢者だけでなく、若年層にも及んでいます。現在、日本人の3人に2人が生活習慣病で亡くなっているといわれています。一方、規則正しい生活をおくことで、脳卒中や心筋梗塞など、生命に関わる病気を予防できるのも生活習慣病の特徴といえます。

病で亡くなっているといわれています。一方、規則正しい生活をおくことで、脳卒中や心筋梗塞など、生命に関わる病気を予防できるのも生活習慣病の特徴といえます。

●転居及び氏名変更、お亡くなりになられた場合はご連絡ください。(組織部3913-9100)

生活習慣病の予防法について述べたいと思います。
生活習慣病が乱れると上昇
健康診断で糖尿病に関連する項目は、一般的に三項目あり、血糖値(血液中の糖分)、尿酸(尿の中に含まれる糖分)、HbA1c(ヘモグロビン・エー・ワン・シ)です。このHbA1cは少し理解しにくい数値なのですが、血糖を流れている赤血球に含まれるHb(ヘモグロビン)は、その一部分が同じように血液中を流れている糖と徐々にく

が必要で、
一 無二少三多の健康習慣
必ずしも糖尿病にかぎったことではありませんが、このような生活習慣病を予防するため、生活習慣病予防協会(※)は「無二少三多」の健康習慣を推奨しています。

◆どこの病院・医院の処方せんでもお受けいたします◆
いつでも気軽に相談できるあなたのまちの薬局です。

あすか薬局 北区豊島3-5-6 ☎3912-7478	かえで薬局 足立区江北1-26-8 ☎3896-6620
すずらん薬局 北区志茂4-14-1 ☎3598-3085	わかくさ薬局 足立区入谷3-1-4 ☎3854-3054
しんでん薬局 足立区新田2-12-7 ☎3911-2274	あらかわ虹薬局 荒川区荒川4-54-4 ☎3803-1005
ひまわり薬局 北区東十条2-6-5 ☎3912-0293	堀切虹薬局 葛飾区堀切7-12-1 ☎3604-9419
ひまわり薬局浮間店 北区浮間3-22-5 ☎3558-3081	薬剤師募集 詳細は3914-0700ひまわり企画まで

ほくと65周年記念手記集

昨年4月より、皆様にご協力をお願いしていました「東京ほくと65周年記念手記集」が、ようやく完成しました。80人の方の様々な想いが寄せられています。

手記集は、募金として1冊500円でお渡ししております。ご希望の方は、本部組織部までご連絡をお願いします。

組織部
☎03-3913-9100

第321回 パズル

〈ヒント〉今日は4月29日の図書券を贈呈します。尚、ことをこれの日と呼びま

1年生
生は調味料やいためものにも、干したのも香り良く薬物に最適

山菜
花のまわりを飛び回ります

佐藤 卓子

